

学校名	新座市立陣屋小学校
実施日	令和 4 年 1 月 19日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校はコミュニティ・スクールとして地域人材や教育力を生かし、地域や保護者と共にある学校を推進している。	A	コロナ禍の中で昨年度できなかった読み聞かせが再開できた。地域、PTA、おやじの会等の協力を得られ教育活動が展開できた。クラブ活動など地域人材を活用できている。	A	PTAやおやじの会と連携して活動している。
2	学校は、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力・活用力等の学力向上に学校全体で取り組んでいる。	A	校内研修には職員が一丸となって取り組んでいる。さらに、具体的な柱を決めて、それを具現化することを目指した研究(実践)をしていく。クロームブックを活用し、子供が集中し、参加しやすい授業展開ができつつある。	A	ICTの使用場面を考えながら、積極的に活用できている。書き取りについてもこれからも課題として取り組んでほしい。
3	学校は組織力の活性化とチームワーク行動の徹底に全職員で取り組んでいる。	B	教師一人一人の協働意識は高い。さらに業務内容の平均化を目指していく。	B	平均化については難しいと思うが、業務内容について意識改革と、具体的な取組について策を講じてほしい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	業務内容を見直し軽減化を図っていく。主任の仕事を担当できるよう業務内容の伝承をすすめていく。	B	見直し・軽減化を意識していることは評価できる。教員の仕事はきりが無い。経験も重要。平均化を目指しての分担は難題である。さらに実行を伴えるよう努力してほしい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	行事の反省を集約し、今後も行事内容を精選、改善していく。	B	今後もコロナのこの状況が続くと思うが、PDCAサイクルに基づき、行事の効率化、実施・改善取り組んでほしい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	不審者対応の訓練を実施し意識改革を図ることができた。	B	中間評価から職員の不安改善がみられ、ポイントアップしたのは活動の成果である。しかしC評価もあることは気になる。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	研修での共通理解が浸透し、ルールが統一されている。学習課題の明確化と振り返りを意識させている。	A	陣屋小は落ち着いた空気を感じる。研修やルールの統一がうまくいっているのではないかと。児童にとって重要なことなので継続して欲しい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	A	クロームブックを活用し、思考や学びを表現できる授業展開を実践できた。	A	クロームブックを今後も活用しながら、書くことを重視してほしい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	学習指導要領及び県の編成要領・新座市の指導の手引きに基づいて作成した、年間指導計画は概ね順調に実施できている。	B	Cの部分の生の声を吸い上げ、改善をしていただきたい。
10	学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業を充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	英語担当教員との打ち合わせを確実にし、行き充実した授業が展開できている。低学年の時数確保を確実にしていく。	A	英語教育だけでなく、グローバル化・国際化について、外国文化に触れる機会や、地域の外国人との交流等も重要である。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	「です、ます。」や進んで挨拶ができる児童がまだまだ少ない。あらゆる場所で繰り返し指導が必要である。教職員が率先垂範することが重要である。	B	教職員が良い手本になるということは意識してほしい。場に応じた言葉遣いの指導を今後も工夫して継続してほしい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A	生徒指導部会での良いところの確認を実施している。また教員間の情報交換が早く、学年・クラスを越えて対応できている。	A	教員間の情報交換ができており、よく指導していただいている。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	B	教師としての対応、関り方について、若手教員の研修を進めていく。	B	若手、新採用の教員の育成をお願いしたい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	体力向上に向けての取り組みを体育授業の中で実践できるよう位置付けていく。体力向上の取組期間を再開していく。	B	年間を通して、各自が目標をもって取り組めるとよい。時代の影響もあるのかもしれない。コロナ禍の中でできることに取り組んでいる。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	毎日の「給食ひとくちメモ」を中心に楽しく知識、意欲を高めている。	A	食材は新座市産を中心に、旬のものを使用している。また陣屋小は食育に関してしっかりと研究している。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	「花壇の整備」・親子清掃等地域住民の方やPTAの方には全面的にご協力を頂けている。また全校遠足では交通整理にも多くの保護者に協力いただいた。	A	花壇の整備・行事の協力等、よくやっている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	HPの陣屋っ子ニュースで定期的に教育活動について伝えることができています。	A	ホームページで子供の様子がわかるところがよい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	コロナ禍の中でも運動会準備、片付け、環境美化に協力いただけている。さらに保護者が学校にすることで不審者対応策になるため、引き続き学校応援団組織の充実をめざしていきたい。	A	学校応援団について活動内容を保護者に周知することに力を入れ、引き継ぎも行うことが重要である。